

オーストラリアから視察訪問

熊野第二小学校



質問を受ける子どもたち

6月28日(月)、熊野第二小学校の特色ある教育実践を学ぼうと、広島大学教育開発国際協力研究センター教授の長尾眞文先生、ユウリカ・ジャポン代表取締役の長尾紅子先生、オーストラリアからメルボルン大学教育学部パム博士、ディーキン大学ローレンス博士の4

名の方が熊野第二小学校を視察訪問されました。午前中は授業参観・学級視察をされ、小学校における学校評価等についての質問もされました。

その後6年生の児童たちは、一緒に給食を食べながら、お話をしたり楽しく交流をして過ごしました。

子どもたちは、オーストラリアについて大変興味をもったようです。

(学校教育課)

地元、熊野高校を通じて、地域と学校について考えます

熊野高等学校

筆都が育てる

筆都を育てる

「あゆみ祭り」に参加！
7月17日(土)、熊野町のあゆみ生活実習所で行われる「あゆみ祭り」に今年も参加しました。

熊野高校は毎年10名前後の生徒が当日準備段階からお手伝いとして加わり、ヨ一ヨ一釣りやゲームコーナーを担当してもらったり、バザーの手伝いをさせていただきます。

参加した生徒は「あゆみ

祭りでは障害を持った方々や地域の方々とお話することができて、とてもうれしい。」「最初、初対面の人たちとうまく話せるかな、役に立てるかなと心配していましたが少しはできたように思いました。」と語ってくれました。

生徒の感想にもありますように、初めはおどおどして緊張していた生徒たちも、あゆみ生活実習所の皆さんのおかげでだんだんと積極的に行動できるようになっていきました。

生徒の中にはこの「あゆ

み祭り」に毎年継続して参加する生徒もおります。また、他の恒例行事にも楽しく参加させていただき、あゆみ生活実習所の皆さんとのつながりを深めています。

最近、現代社会の人間関係が希薄になってきているとよくいわれる中、生徒たちはこの「あゆみ祭り」に参加するという社会体験を通して、「人のあたたかさ」を学ぶことができました。

ありがとうございました。

不審者が
出没しています

最近、熊野町内で児童・生徒への声掛け事件が相次いで発生しています。

児童・生徒へ「可愛い動物がいるよ」「手品を見せてあげる」「写真を撮ってあげる」等と、言葉巧みに声を掛けて連れ去ろうとするものです。

防犯対策としては
家の人に行く先を告げて外出しよう。
「防犯ブザー」を持って外出しよう。
見知らぬ人から声を掛けられても、絶対についていけない。
近くの「子供110番の家」を確認しておこう。

地域の人も夏休み中の児童生徒に関心を持ち、不審な行動をする人を見かけたら110番してください。

(学校教育課)